

令和4年11月17日(木) 5校時

5年1組 21名

指導者 黄丸 裕真

1. 単元名 APUの学生に、日本の四季や文化について紹介しよう。

教材名 NEW HORIZON Elementary⑤ Unit7 「Welcome to Japan.」

魔法のアルファベット練習ノート⑤

2. 単元について

(1) 児童について

【リタラシーについて】

4年生から本校の取り組みとして「音素体操」や「Pico Time」などを行ってきた。普段のROUTINEの中で音を聞いて、聞こえたアルファベットを探したり、選んだりしてきた。音や名前を聞いて、正しい文字を選んだり書いたりすることができる児童は多い。

5年生になり「魔法のアルファベット練習ノート⑤」を使って26文字の大文字・小文字を書く練習をしてきた。9月にアルファベットの大文字をどのくらい書けるのかを調べたところ、21人中14人の児童が正しく書くことができていた。また、10月にアルファベットの小文字をどのくらい書けるのか調べたところ、21人中6人の児童が正しく書くことができていた。児童のつまづいた点を見てみると、「j」を決められた4線内を書くことができておらず、4線内の正しい位置に文字を書くことができるようにする課題であることがわかった。また、「p」と「q」や「b」と「d」といった同じような形の小文字において、向きを間違えて書いている児童が数人いた。

【Activityについて】

Unit5までの学習で、自分の名前や誕生日、将来の夢などの「自分のこと」やお気に入りの場所など、「地域のこと」を伝え合う学習を行った。「友だちと英語で会話できるとうれしい」「もっと英語で話してみたい」など、英語を話すことに対して前向きな児童たちが多い。

7月に行った「自分のこと」についてのパフォーマンステストでは、ほとんどの児童が質問に受け答えできていた。一方で、児童の感想には「ジェスチャーができなかった」「リアクションをすることができなかった」「質問に対して何も言うことができなかった」などと、自分のパフォーマンスに納得できていない児童もいた。

また、昨年度6年児童が受けた英検ESGでは、4技能どれも県平均を超える結果が出た。特に県平均を大きく上回っていたのはListeningであった。毎朝英語の歌を流したり、給食時に週2回英語の歌やおはなしを放送したりしてきたことで、少しずつ英語の音声に慣れてきているのではないかと考えられる。一方、県平均との差が小さいが本校の課題と考えられるのがSpeakingである。問われたことに対して何とか答えようとする力が足りないと言える。

(2) 教材について

【リタラシーについて】

アニマルジングルについて、単語を聞き取った上で正しく選び、4線内に書き写すことができる力。

【Activityについて】

日本の四季や文化などについて、音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現を用いて、自分の好きな日本の四季や文化を伝え合う力。

総合的な学習の時間の中で、日本の文化について調べる。

<CAN-DO リスト形式による学習到達目標>

○書くこと(イ)

「日本の四季紹介カード」に基本的な表現を、語順に気を付けて書くことができる。

○話すこと・やり取り(ウ)

日本の四季や文化について、その場で質問したり、質問に答えたりして、伝え合うことができる。

(3) 指導について

【リタラシーについて】

○「音素体操」

/a/~/z/の音があることを理解し、はっきりと音を発音させる。

○「Pico Time」

3・4文字で構成された単語をオンセットライム(子音+ライム)で、リズムに合わせて発音練習させる。

○「魔法のアルファベット練習ノート⑤」

アニマルジングルを聞き、単語を声に出しながらアルファベットをなぞり書きさせる。

○「振り返りシート」

アニマルジングルについて、単語を聞き取り、正しく選び4線内に書き写させる。

【Activity について】

○言語活動

- 本単元で学習した基本的な表現を使い、自分の好きな日本の四季や文化を友だちや APU の学生に紹介するため、紹介に使う表現を3～5時の中の活動の中で、くり返し話すことにより慣れ親しませたり、ワークシートに紹介文を書いたり、ロイロノートでプレゼンテーションを作成させたりする。
- 質問された時に相手とやり取りできるようにするため、授業の中で教師が児童に繰り返し質問し答えさせる活動を設定することで、質問を使った会話表現に慣れ親しませる。
- 毎時間チャンツを歌わせることで、相手の紹介に質問する「Why do you like ～ ?」「What do you do on ～ ?」の表現に慣れ親しませる。
- 自分の好きな日本の四季や文化を APU の学生にオンラインで紹介する際に、思いを十分に伝えるためにはジェスチャーが有効であることを気づかせたい。そこで、教師が画面を通して児童と話す活動を設定し直接会話するときの違いを感じさせ、友だち同士でジェスチャーを使ったやり取りを練習させる。
- アルファベットは決められた線の中に書かれていることを意識づけるために、掲示物や Pico Time、ワークシートには4線を引いたものを使用する。

○言語材料

- 既習表現 What's it? Can you ～?/What ～ do you like?/When is ～?など
- 新出表現 Why do you like～?/We have ～ in …./What do you do ～?/I usually ～./You can ～./It's ～.
- 語彙 季節 (spring など)、形 (circle など)、遊び (camping など)、年中行事 (birthday など)

3. 単元目標

【リタラシーについて】

単元目標	(5) 書くこと 単語を聞き取り、正しく選び4線内に書き写すことができるようにする。
関連する領域目標 (学習指導要領)	(5) 書くこと ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

【Activity について】

単元目標	(3) 話すこと【やり取り】 自分の好きな日本の四季や文化について簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。
関連する領域目標 (学習指導要領)	(3) 話すこと【やり取り】 ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。

4. 単元の評価規準

【リタラシーについて】

書くこと	知識・技能	知識	アニマルジングルの単語を理解している。
		技能	アニマルジングルの単語4線内に書き写す技能を身に付けている。
	思考・判断・表現		聞き取ったアニマルジングルの単語を書き写している。
	主体的に学習に取り組む態度		聞き取ったアニマルジングルの単語を書き写そうとしている。

【Activity について】

英語力【英語力】	知識・技能	知識	日本の四季や文化に関する語句、 Why do you like ~? We have ~. What do you do ~? I usually ~. You can ~などの表現について理解している。
		技能	日本の四季や文化に関する語句、 Why do you like ~? We have ~. What do you do ~? I usually ~. You can ~などの表現や自分の考えや気持ちなどを含めて話したり、相手の話に応じて質問したりする技能を身に付けている。
	思考・判断・表現		自分や友だちが好きな日本の四季や文化について、その場に応じて質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合っている。
	主体的に学習に取り組む態度		自分や友だちが好きな日本の四季や文化について、その場に応じて質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合おうとしている。

5. 単元指導計画と評価計画（全8時間）

リ・・・リタラシー A・・・Activity

単元計画		記録に残す評価の計画		
単元のゴール『APU の学生に、自分の好きな日本の四季や文化について紹介しよう。』		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1・2	○アニマルジングルを歌い、アルファベットをなぞる。 ① (ant~iguana) ② (jaguar~rabbit) ○日本の四季や文化を表す語句について、会話文を聞くことを通して理解している。			
3	○アニマルジングルを歌い、アルファベットをなぞる。 (seal~zoo) ○それぞれの季節にすることやできることについて、友だちとクイズを出し合うことで話す。 ○紹介文をワークシートに書く。	A (書く) ワークシート		
4	○アニマルジングルを聞いて、単語を書き写す。 ○What do you do ~ ? を使い、季節に何を行うのかを伝え合う。 ○紹介文をワークシートに書く。		リ (書く) ワークシート	
5	○アニマルジングルを聞いて、単語を書き写す。 ○Why do you like ~ ? を使い、好きな季節やその理由を尋ね合う。 ○紹介文をワークシートに書く。			
6 (本時)	○アニマルジングルを聞いて、単語を書き写す。 ○友だちと好きな日本の四季や文化について、質問を返しながら自分の考えや思いを伝え合っている。		A (やり取り) ふりかえりシート・行動観察	
7	○アニマルジングルを聞いて、単語を書き写す。 ○APU の学生に伝わるように、紹介の仕方を工夫する。		A (やり取り) ふりかえりシート・行動観察	
8	○自分の紹介したい日本の四季や文化について、質問を返しながら自分の考えを伝え合っている。		A (やり取り) ふりかえりシート・行動観察	A (やり取り) ふりかえりシート

6. 言語活動の視点

1	必然性	クラスの友だちや APU の学生と「好きな日本の四季や文化」を伝え合う。
2	ほんもの	外国語の授業で使った表現で、クラスの友だちや多文化の背景を持つ APU の学生と会話をする。
3	相手意識	クラスの友だちや APU の学生に自分の考えや気持ちを伝えるために、自分の感想を伝えたり、ジェスチャーを交えながら話したりする。話を聞いているときに、相槌を打ったり、質問したり、感想を伝えたりする。

4	コミュニケーションの意義や楽しさ	クラスの友だちやAPUの学生と英語でコミュニケーションし、APUの学生に伝わることでお互いに理解し合い、達成感を感じる。
---	------------------	--

7. 本時案 (6/8)

(1) 題目 Welcome to Japan. 友だちの好きな日本の四季や文化について知ろう。

(2) ねらい ○聞き取った単語を正しく選び、4線内に書き写すことができるようにする。

○友だちの考えや思いを詳しく知るためには質問をすればよいということ、自分の好きな日本の四季や文化を紹介し合う活動や、やり取りのモデルを見ることにより気づき、友だちの紹介を聞いて質問することができるようにする。

(3) 展開

		時(分)	児童の活動及び指導者の活動	評価【方法】
1	Greeting	2	「Let's start our English class. (What season do you like?)	
2	ROUTINE (Literacy Time)	10	1. 音韻認識を高める活動 ○音素体操 ・アルファベットの文字には、名前のほかに、/a~/z/の音があることを意識し、はっきりと発音する。 ○「Pico Time」音つなぎ ・3・4文字で構成された単語をオンセットタイムでリズムに合わせて発音練習する。 2. リタラシー能力を高める活動 ○「魔法のアルファベットノート⑤」 ・アニマルジングルを発音に気を付けながら歌う。 ○「ワークシート」 ・アニマルジングルについて、聞き取った単語を4線内に書き写す。	(書くこと) 聞き取ったアニマルジングルの単語を4線内に書き写している。 【ワークシート】
3	Activity	27	○本時のめあての確認 ・本時のめあてと流れを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">めあて「友だちの好きな日本の四季や文化について、くわしく知ろう。」</div> 【Let's chant】 ① 「Why do you like winter?」 ② 「What do you do on New Year's Day?」 ・教材の音声に合わせて歌う。 【Step 1】 ○友だちと紹介し合う。 ・教師と児童でやり取りを行い、見通しを持たせて活動を行う。その時に、児童の発表に教師が質問している姿を見せる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">例 児童 I like spring. We have hanami in spring. 教師 I see. Why do you like hanami? 児童 It's beautiful. 教師 Nice!</div> ・お互いにロイロノートを見せながら、自分の好きな日本の四季や文化について紹介しあう。 【Step 2】 ○めあてを再確認し、「くわしく」知ることについて考える。	

			<ul style="list-style-type: none"> ・活動を途中で止め、友だちの紹介が詳しくわかったかどうかを確認する ・「くわしく」の意味を考える。 ・「くわしくわかった」という児童がいたらどうして詳しくわかったのかを尋ねる。 ・質問をしていた児童がいたらどんな質問をしたのかを尋ねる。 ・質問をしていた児童がいなかったら、もう一度教師と児童でのやり取りを見せ、紹介に対して質問をしていることに気付かせる。 ・質問すると内容を詳しく知ることができ、既習の言葉で質問ができることに気付かせ、質問の表現を黒板に位置付ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想される質問表現</p> <p>What is it ?</p> <p>Why do you like ~ ?</p> <p>What () do you like ~ ?</p> <p>Can you do ~ ?</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・質問の表現を全体で確認し、教師と児童で質問を交えたやり取りを行って活動の見通しを持たせ、【Step3】に移る。 <p>【Step3】</p> <p>○友だちと紹介し合い、質問し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Step2】で確認した質問の表現を使い、友だちの紹介に質問し合う。 ・【Step2】で確認していなかった質問の表現を使っている児童がいたら取り上げ、その表現をほかの児童にも知らせる。 ・会話の中で一度質問できればよいと確認しておく。 ・児童に困りがあればその都度活動を止め、困りを解決する。 ・活動の最後に、質問すると相手の考えや思いについて「くわしく」知ることができると確認する。 	<p>(やり取り)</p> <p>友だちの考えや思いを詳しく知るために、友だちの紹介に質問している。</p> <p>【行動観察】</p>
4	Looking Back	5	<p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりシートに本時の振り返りを記入する。 ・本時の活動での慣れ親しんだ表現を聞き、表現に対する質問を板書している文の中から選び書き写す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>I like summer.</p> <p>We have fireworks in summer.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの紹介に質問することができたかを振り返る。 	<p>(やり取り)</p> <p>友だちの考えや思いを詳しく知るために、友だちの紹介に質問している。【ふりかえりシート】</p>
5	Farewell	1	「Thank you for our English class.」	

